

## コリント人への手紙第一 16:1-11 クリスチャンと教会と献金

今日からコリント人への手紙第一の最後である 16 章の学びを始めます。1-11 節を見ていきます。コリント第一の学びは、今日を含めて 3 回の説教を残すのみとなりました。この書簡で伝えなかった主要な点は語りつくされ、パウロは最後にいくつかの個人的な点を述べて終えようとしているところです。ですが、こうした事務的で個人的な内容の中にも、神のみ言葉の一部として、現在の私たち皆にも当てはまる内容が示されています。まず、**コリント第一 16:1-2** を読みましょう。「**1 さて、聖徒たちのための献金については、ガラテヤの諸教会に命じたとおりに、あなたがたも行いなさい。 2 私がそちらに行ってから献金を集めることがないように、あなたがたはそれぞれ、いつも週の初めの日に、収入に応じて、いくらかでも手もとに蓄えておきなさい。**」

この箇所には実際、今日の教会生活においてもあるべき 2 つの考え方が示されています。それは、**個々の信徒が献金すること、そして教会が献金すること**です。2 節では個々の信徒による献金について示されています。1 節で、このことは他の教会にも伝えていることだけれどと前置きをした上でパウロはこのように言っています。「**私がそちらに行ってから献金を集めることがないように、あなたがたはそれぞれ、いつも週の初めの日に、収入に応じて、いくらかでも手もとに蓄えておきなさい。**」この教会への指示の最初の部分は、教会内の個々人に対してであることに注目してください。「それぞれ」とパウロが言っていることから、これが教会のメンバー一人一人に関わることだと言うことが分かります。教会内にいたであろう豊かな人たちだけに与えた指示ではありません。教会の長老や執事だけに宛てたものでもありません。教会の「**それぞれ**」が、教会の宣教のために献金するためお金を蓄えるようにというのです。なぜ教会を通して献金するように言われていると分かるのでしょうか。パウロが具体的に「**週の初めの日に**」とやっていることに注目してください。初代教会の頃から、週の初めの日、ユダヤ教の安息日の翌日がキリスト教の礼拝の日だったのです。そのことを使徒の働き最初の部分に見ることができます。使徒の働き 20:7 にはこうあります。「**7 週の初めの日に、私たちはパンを裂くために集まった。パウロは翌日に出発することにしていたので、人々と語り合い、夜中まで語り続けた。**」ユダヤ人の 1 日の定義は、夜の 6 時ごろに始まり、24 時間後の翌日 6 時ごろに終わります。ですから、7 日目の土曜日に安息日を守った後、初期のユダヤ人信徒たちは、私たちが考える土曜日の夜に集まって礼拝し、共に復活を祝ったのです。それは後に日曜日の朝に礼拝することになっていきますが、その目的は変わっていません。その集まりは、教会が共に集い、供え物を捧げる時間であったということです。

自分の教会以外のキリスト教ミニストリーや働きに献金することは間違いでしょうか。必ずしもそうではありませんが、新約聖書では教会の宣教やミニストリーを支えるために地域の教会を通して献金することが明確に示されています。皆さんの霊的生活、健康、栄養は地域の教会、つまり私たちの場合は Y I B C から得られるのですから、献金は皆さんの教会家族の働きを支えるものであるべきではないでしょうか。もしも教会がミニストリーの働きのためにキリストの体を建て上げるといふ最も重要な使命を果たせていないのであれば、皆さんや皆さんの家族がよりよい訓練を受け、そのために教会が何をすればよいか理解するため、是非私に話しにいらしてください。ですが、たとえ不健康な教会であったとしても、そのことについて話し合うこともせず、皆さんのお金やその他の捧げものを自分の属する教会以外の場所に捧げることは聖書的ではありません。聖書の原則と言うよりは私の意見かもしれませんが、私たちが宣教やミニストリーへの支援をする主な手段は、地域の教会を通してであるということを理解することが、このことへの理解につながると思います。

さて次に、誰もが抱く大きな問題についてです。「いくら献金すればよいのでしょうか？」パウロの答えに注目してください。「**収入に応じて、いくらか**」と言っています。単純に 10% を捧げなさい、であれば非常に簡単です。教会のリーダーの中には強くそのように信じている方もおられます。ですが、什分の一献金は聖書が支持している一般的なガイドラインで、最低限の基準の

ようなものであることを強く指摘します。私も什分の一を捧げますが、パウロはある意味、律法主義的な基準の先を見るように求めているのではないかと思います。誰もが何かをできるということを言っているのです。イエスと弟子たちは会堂に座り、献金箱に人々が金を投げ入れる様子を見ていました。そこに貧しいやもめが来て、現在の価値にすれば1枚1円にもならないような小さな銅貨を2枚だけ投げ入れるのをご覧になりました。ですが、イエスは弟子たちにマルコ12:43-44でこのように言われました。「43 イエスは弟子たちを呼んで言われた。「まことに、あなたがたに言います。この貧しいやもめは、献金箱に投げ入れている人々の中で、だれよりも多くを投げ入れました。44 皆はあり余る中から投げ入れたのに、この人は乏しい中から、持っているすべてを、生きる手立てのすべてを投げ入れたのですから。」イエスは捧げものに対する犠牲を称賛されたのです。それは10%ではなく、はるかに大きなものでした。持てる全てでした。ですから、もし皆さんが私には十分なものがないのにどうやって捧げられるでしょうと言われるなら、いくらかと全ての間という基準で良いのです。けれど、ここでパウロは何%とは述べていないものの、程度の基準を示していることから、10%というのは良い基準であるとお勧めしたいです。パウロが「収入に応じて」といっていることに注目してください。皆さんの中には、豊かで10%以上の献金をする余裕がある方もおられるでしょう。それほど豊かではなく、10%は無理だという方もおられるでしょう。ですが、神は他の人と同じ額だけ捧げることを求めておられるわけではありません。神が与えてくださったもの、豊かに与えてくださったものに基づいて捧げることを求めておられるのです。皆さんが持っているものは全て、そもそもは神が与えてくださったものであることを忘れないでください。ローマ11:36はこう指摘しています。「36 すべてのものが神から発し、神によって成り、神に至るのです。この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン。」ですから、神が私たちに神の王国と教会の働きを支えるために捧げるべきだと言われるとき、神が望んでおられるのは、そもそも神のものであるものの中から一部をお返しすることなのです。

ですが、個々のクリスチャンのみが捧げるのではなく、**教会も**世界中の福音の働きを支えるために外に対して捧げることが必要です。その捧げものには金銭的なものとパートナーシップの2つがあります。ここで語られている一つ目の捧げものは**お金**です。3-4節を見て下さい。「3 私がそちらに着いたら、あなたがたの承認を得た人たちに手紙を持たせてエルサレムに派遣し、あなたがたの贈り物を届けさせましょう。4 もし私も行くほうがよければ、その人たちは私と一緒に行くことになるでしょう。」つまり、個人が教会に捧げたお金の一部は、コリント以外の教会の活動を支援するためのものであったことは明らかです。この場合、アジアとマケドニアの教会でパウロが集めた特別な捧げものの受け取り手はエルサレムの教会でした。ローマ人への手紙15章には、この捧げものが何を支えるものであったかが記されています。ローマ15:26「26 それは、マケドニアとアカイアの人々が、エルサレムの聖徒たちの中の貧しい人たちのために、喜んで援助をすることにしたからです。」これらの教会から集められたものは、エルサレムの貧しい人たちを支えるためであったと思われる。その当時、エルサレムにいた者は、ユダヤ人宗教指導者から迫害を受け、生活が非常に苦しかったのに比べ、コリントやその他の場所の教会員は裕福であったと思われる。ですから、ここにあるのは教会が教会を助けている姿です。

そして当然ながら、今日の私たちも一つの教会だけではできないことを他の教会と共に成すため、財政的な面で捧げ物をしています。この捧げるといふことにおいて私たちの教会が何を実践しているかをご説明するのに良い機会かと思えます。コーポラティブプログラムと呼ばれている協力プログラムの説明が片面は英語、片面は日本語で書かれた資料をお配りしております(本原稿の最後に掲載しています)。これは、南部バプテスト連盟に属する大宣教命令に従うバプテスト信徒が共にミニストリーを行うためのものです。この図を見ていただくと、一番上にある個々の教会がプログラムを財政面で支えていることが分かります。2021年の統計では、1360万人の教会員を代表して47,614の教会が南部バプテスト連盟を通して提携しています。南部バプテスト連盟の実体とは、年に一度開催される総会に各々の教会から代表が集まり、神から与えられた資源をどのように用いることが最善かを決定するときのみに存在するものです。大宣教命

令に従うグレート・コミッション・バプテストとして知られている南部バプテスト連盟が行うすべての活動は、この協力プログラムによって賄われています。一番上にある地域の教会に戻ります。90%以上のほとんどの教会は、私たちも含め、州のバプテスト連盟を通してグレート・コミッション・バプテストに繋がっています。ハワイのみが私たちの教会のような米国以外にある南部バプテスト連盟に属する教会と提携している唯一ユニークな州です。図を見ていただくと、協力プログラムの最初のステップがお分かりいただけると思います。献金はまず私たちからハワイ太平洋バプテスト連盟に送られます。州によっては大学を運営しているところがありますが、HPBCではしていません。ですが、私たちからの寄付で連盟スタッフの人件費やHPBCが行う宣教活動、ハワイ太平洋地域の教会で行われるVBSなどの地域教会のプロジェクトが支援されます。地域の大学キャンパスでのアウトリーチや教会開拓の支援も行っています。またHPBCに属する教会のためにハワイ以外のアメリカ本土からの支援を探してくれることもあります。私たちの地域連盟は財政面において乏しい連盟の一つですから、この点では恩恵を得ています。

ですから、私たちの献金はまず州連盟に送られ、州連盟はその約80%をHPBCのプロジェクトのためだけに用いるために保持します。その財源はHPBC地域においてアジアバプテストネットワークやHPBCの他の教会のために用いられます。州連盟が行うプロジェクトの例は図に見ることができます。そして、州連盟からの資金が国レベルの協力プログラムの資金となることが分かります。HPBCの場合、私たちがHPBCに協力プログラムの資金として寄付した金額の約20%が国の協力プログラムのためにテネシー州ナッシュビルに送られます。その資金は主要な3つの分野とそれよりは小さな2つの協力分野に用いられます。主要な3つの分野は、図にある通り国際宣教、神学教育、北米宣教の3つです。それよりは小さな2つの分野の一つ目は倫理と宗教の自由委員会を通しての倫理と宗教の自由の問題への対応、2つ目はSBC運営予算です。SBCが所有する資産の管理、連盟の実行委員会が雇用する常勤スタッフ、毎年の会議を開催するための経費などに用いられます。国際宣教部門はインターナショナル・ミッション・ボードで、北米を除く世界のあらゆる所に遣わされている3552人の宣教師を支えており、その内100人ほどが日本にあり、2人がYIBCから出て働かれています。神学教育部門は、アメリカにある6つの南部バプテスト神学校を支援しています。YIBCからは現在3人の教会員が南部バプテスト神学校に在籍していますし、私自身もサウスイースタン神学校の卒業生です。最後に、北米ミッションボードを通しての北米宣教です。北米全域で教会開拓者の育成や宣教活動を支援していますが、私たちのクロスチャーチ横須賀を始まりに、北米以外の教会にも支援を始めています。これが協力プログラムです。現在、YIBCは年間100万円を協力プログラムに捧げています。また、国際宣教と北米宣教に毎年直接捧げられている2つの特別献金があることに注目してください。既に多くの方がご存知かと思いますが、ロッチェ・ムーン・クリスマス献金はインターナショナル・ミッション・ボードに直接捧げられます。今年、YIBCはロッチェ・ムーン献金にクリスマス献金の75%に相当する**5356.82ドル/72万円を捧げました**。私たちの教会では北米ミッション・ボードに捧げられるアニー・アームストロング献金は集めていませんが、ほとんどのアメリカの教会が献金をしています。

これらのグレート・コミッション・バプテストの捧げものに加え、私たちの教会では個別の宣教活動を行ったり、他の団体や教会に捧げています。数週間前、クロスコミュニティーチャーチ横浜に捧げた看板を見ていただきましたし、クリスマスには献金の日本向けの部分をシーホース・サッカーミニストリーに捧げました。来週はヨハン・晴子 ストライダム夫妻をお招きして大阪での教会開拓の働きについて分かち合って頂く予定です。教会として生来、彼らの働きに何かしらの貢献ができることを期待しています。このことは、次に見る教会が関わるべき捧げもののもう一つの側面である**特定のミニストリーや個人とのパートナーシップ**につながります。

5-11節を見て下さい。「**5 私はマケドニアを通過して、あなたがたのところへ行きます。マケドニアはただ通過し、6 おそらく、あなたがたのところに滞在するでしょう。冬を越すことになるかもしれません。どこに向かうにしても、あなたがたに送り出してもらおうためです。7 私は今、旅のついでにあなたがたに会うようなことはしたくありません。主がお許しになるなら、あ**

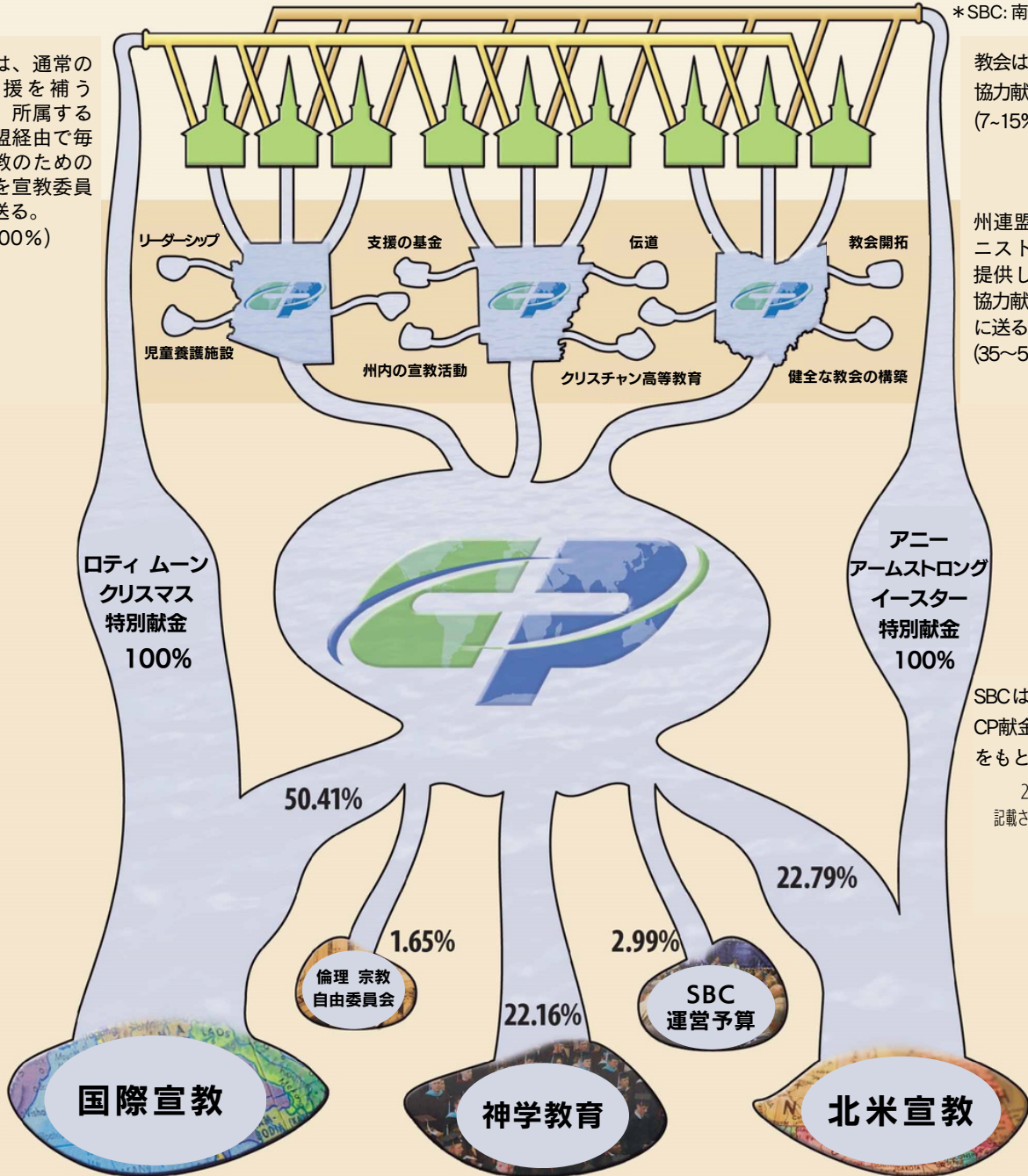
あなたがたのところにはしばらく滞在したいと願っています。8 しかし、五旬節まではエペソに滞在します。9 実り多い働きをもたらす門が私のために広く開かれています、反対者も大勢いるからです。10 テモテがそちらに行ったら、あなたがたのところで心配なく過ごせるようにしてあげてください。彼も私と同じように、主のみわざに励んでいるのです。11 だれも彼を軽んじてはいけません。彼を平安のうちに送り出して、私のところに来させてください。私は、彼が兄弟たちと一緒に戻るのを待っています。」この箇所にあるすべての繋がりに注目してください。パウロはいくつかの異なる都市の教会を回り、テモテを宣教師として様々な教会に派遣しています。パウロはコリントの教会がテモテをもてなし、宣教の中にあってリフレッシュできるよう計らうことを期待していました。9 節では共に祈ることでコリントの人たちが宣教に関わる機会を得られることを伝えています。この箇所では財政面でのパートナーシップを見ましたが、ここでテモテに滞在場所を整えもてなすといったことを見ます。YIBC では HPBC に限らず、クロスチャーチ横須賀のクリス・トーマス牧師や CCCY のパトリック・マクギンティ牧師とのパートナーシップを積極的に模索しています。コナバプテスト教会とは継続的なパートナーシップ関係にありますし、今年の夏には、テモテがコリントの教会を訪れたように、ジョージア州アトランタからミッションチームがやってくる予定です。

今日、この献金に関する箇所を終えるにあたり、私たちの捧げものとキリストとの関係の間に一線を引きたいと思います。7 節でパウロが全てにおいて「主がお許しになるなら」と言っていることに注目してください。パウロは資金についても、教会の支援についても、宣教の機会についても、人生のあらゆる部分において神が主権者であることを理解していました。神が支配しておられるのです。そのことを心に留めるなら、私たちは個人でも、教会全体としても、聖霊に導かれて捧げることが簡単にできるようになります。なぜなら神が私たちの財政でさえ全てを支配されるお方であることを知っているからです。今年になって私たちの話題によく上る福音中心のビジョンを持ち続けることで、神が導かれるままに捧げることが可能です。それは、十字架を見上げる度に、私たちが神の子どもとなるためにそのひとり子を与えてくださった神の愛を見るからです。ヨハネの福音書 1:12 はキリストについて「12 しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとなる特権をお与えになった。」と言っています。キリストの犠牲的な死とその犠牲のゆえに神の家族の一人となれた私たちの立場に注目することが、私たちが捧げるときの指針となるはずです。キリストは私たちのためにすべてを捧げて下さり、すべてをお持ちの父なる神ご自身から受け継ぐことができるようにして下さいました。ですから、神が私たちに与えるように求められるものは何でも、神の力と恵みを覚えるとき、簡単に与えることが出来るはずです。祈りましょう。

# 協カプログラム:小さな流れも大河となる

教会は、通常のCP支援を補うため、所属する州連盟経由で毎年宣教のための献金を宣教委員会に送る。

(100%)



\*CP:協カプログラム  
\*SBC: 南部バプテスト連盟

教会は、所属州連盟に協カ献金を送る。(7~15%以上を目標に)

州連盟は、州内のミニストリーに資金を提供し、教会からの協カ献金の一部をSBCに送る。(35~55%の範囲)

SBCは、受け取ったCP献金をCP配分予算をもとに分配する。  
2013-2014  
記載されている割合の通り

国際宣教

神学教育

北米宣教

## 1Corinthians 16:1-11 The Christian, the Church, and Giving

Today we are starting 1Corinthians 16, the last chapter in this book. We will be looking at verses 1-11. Including today, we have 3 sermons left in this book. The main concerns of the book have all been dealt with, and Paul is now wrapping it up with some personal items of business. But even in these largely administrative and personal details, there are instructions that are applicable to all of us even now as part of God's Word to us. Let's begin by reading verses 1-2 of 1Corinthians 16. **Now concerning the collection for the saints: as I directed the churches of Galatia, so you also are to do. 2 On the first day of every week, each of you is to put something aside and store it up, as he may prosper, so that there will be no collecting when I come.**

This passage actually gives us two big ideas that should be present in the life of the church today. The main ideas are these, **individual Christians should give and churches should give**. Verse 2 shows us this giving by individual Christians. After reminding them in verse 1 that this is a message he also gives to other churches, Paul says, **On the first day of every week each of you is to put something aside and store it up, as he may prosper, so that there will be no collecting when I come**. Notice that this first part of his instruction to the church is to individuals within the church. He says, "each of you", so this involves each member of the church. It is not instruction that he is giving just to the rich people that were undoubtedly in the church. It was not given only to those who were Deacons or Elders in the church. **"Each of you"** in the church are to save money specifically for giving to the mission of the church. How do we know it is for giving through the church? Notice he specifically says, **"the first day of every week."** From the earliest days of the church, the first day of the week, the day after the Jewish Sabbath day was the day for Christian worship. We see this at the very beginning in the book of Acts. **Acts 20:7 says, 7 On the first day of the week, when we were gathered together to break bread, Paul talked with them, intending to depart on the next day, and he prolonged his speech until midnight.** The Jewish understanding of a day began at night around 6PM and concluded 24 hours later, about 6PM the next day. So, after keeping the Sabbath on the seventh day, Saturday, the first Jewish believers would then gather on what we would think of as Saturday night and worship and celebrate the resurrection together. Gradually, those times of worship moved to Sunday morning, but the point was the same. That was the time the church gathered together, and that was the time offerings were to be given.

Is it wrong to give to other Christian ministries and causes outside of your church where you are a member? Not necessarily, but the New Testament practice is clearly giving through the gathering of the local church for the support of the church mission and ministry. Your spiritual life, health and nourishment should be coming from your local church, in our case YIBC, therefore it is only right if your offerings should support the work of what is supposed to be your church family. If we are failing in our primary mission of building up the body of Christ for the work of the ministry, then please come talk to me and help me understand how we can better disciple and serve you and your family. But simply redirecting your money and resources without at least giving us a chance to talk about the problems is not the Biblical way to handle even unhealthy church environments. This is more my opinion probably than a Biblical principal, but I think understanding that our primary mode of missions and ministry support is through the local church leads to this understanding.

Now, about the big question that everyone has – how much should I give? Notice that Paul addresses that question. He says to put **something ... as he may prosper**. It would be very easy for me to simply tell you that you should tithe 10%. There are other leaders in the

church who very strongly believe that, and I would absolutely point to the tithe as a general guideline that the Bible supports as a sort of baseline standard. And I do tithe, but I think Paul is in some ways asking us to look beyond a legalistic standard. He is saying that everyone can do something. Jesus and his disciples were sitting in the temple watching people put money in the offering boxes, and he saw a poor widow who put in just two little copper coins, likely worth less than 1 yen each in modern financial terms. But he said to his disciples in [Mark 12:43-44](#), [43 Calling his disciples to him, Jesus said, “Truly I tell you, this poor widow has put more into the treasury than all the others. 44 They all gave out of their wealth; but she, out of her poverty, put in everything—all she had to live on.”](#) Jesus was commending the sacrificial nature of the gift. It wasn't 10 percent, it was far more. It was everything. So, if you say, well how can I give, I don't have enough. Somewhere between something and everything is a good standard. But I would still commend to you that 10 percent is a good standard to hold to since Paul here is still teaching a proportional standard in giving without saying a certain percent. Notice he says, “[as he may prosper.](#)” Some of you prosper a lot, and can afford to give more than 10 percent. Some of you prosper only a little and maybe 10 percent is a stretch for you. But God is not asking you to give what someone else is giving. He is asking you to give based on what he has given you or prospered you. Remember, everything you have comes from God in the first place. [Romans 11:36](#) reminds us, [36 For from him and through him and to him are all things. To him be glory forever. Amen.](#) So, when God tells us that we are supposed to give to support the work of his kingdom and his church, then all he wants us to do is return a part of what is rightfully his anyway.

But, it's not just individual Christians that should give, but **churches should give** externally to support the work of the gospel around the world as well. That giving is in two ways, money and partnership. The first type of giving we see here discussed is **money**. Look at verses 3-4. [3 And when I arrive, I will send those whom you accredit by letter to carry your gift to Jerusalem. 4 If it seems advisable that I should go also, they will accompany me.](#) So, it is clear that at least part of the money that individuals gave to the church was intended to support the work of the church outside of Corinth. In this case, the church at Jerusalem was the recipient of a special collection that Paul was organizing among the churches of Asia and Macedonia. In Romans 15, we are given an idea of what this offering was likely supporting. [Romans 15:26](#) says, [26 For Macedonia and Achaia have been pleased to make some contribution for the poor among the saints at Jerusalem.](#) This collection from these churches was likely to support those who were poor in Jerusalem. The church members in Corinth and other places were likely wealthy compared to those in Jerusalem at this time, and due to the persecution from the Jewish religious leaders in Jerusalem, it likely made life very difficult for them. So, what we see is churches helping churches.

And as we should, we still practice this as a church today, as we give financially to do things together with other churches that no one church could do on our own. This is a great opportunity to explain how we as a church practice this idea of giving. I have given everyone a handout with one side English and one side Japanese explaining what is called the Cooperative program ([Please find it at the end of this manuscript](#)). This is the way that Great Commission Baptists join together in the Southern Baptist Convention cooperate for ministry together. When you look at that diagram you see the churches on the top as the ones providing the finances for the rest of the structure. As of 2021 statistics, there are 47,614 Cooperating Churches who associate with each other through the Southern Baptist Convention, representing 13.6 million church members. The actual Southern Baptist Convention only exists once a year when the churches send messengers to the Annual

Meeting to decide as a group of churches how best to use the resources that God provides. All the activities of the Southern Baptist Convention also known as Great Commission Baptists are funded through this one Cooperative Program. So back to the local church at the top. Most, well over 90% of churches are related to the Great Commission Baptists through a State Baptist Convention, as are we. Hawaii has the one state convention that has partnered with churches outside of the US, creating the first and so far only unique situation of have SBC affiliated churches like us that are not US churches. On the chart you can see that first level of Cooperative Program giving. Money goes from us to the Hawaii Pacific Baptist Convention. Some states run colleges; HPBC does not. But our money pays for the Convention staff and funds missions endeavors done by HPBC and other local church projects like VBS across the Hawaii Pacific region. They run campus outreaches on the local college campuses, and assist with church planting. And they even find resources outside of Hawaii from mainland US sources to benefit the churches of the HPBC, which is very beneficial since we have one of the poorest in terms of funding state conventions.

So, our money first goes to the state convention, who keeps about 80% of it to be used for HPBC projects only. That money stays in the HPBC region and benefits the Asia Baptist Network and other HPBC churches. You can see examples of the projects done by state conventions on the diagram. Then you can see the money leaving the state Conventions and going to the national Cooperative Program funds. For HPBC, that means that about 20% of what we give to HPBC as Cooperative Program funds are then sent to Nashville Tennessee to fund National Convention efforts. Those funds are spent in 3 primary ways and in 2 smaller cooperative areas. You can see the big three there on your diagram, International Missions, Theological Education, and North American Missions. There are also the two lesser ones, Ethics and Religious liberty issues through the Ethics and Religious Liberty Commission and the SBC operating budget that pays for the administrative expenses of the assets the SBC owns, the full-time staff employed by the Convention's Executive Committee, and expenses related to holding the Convention itself each year. The International Missions Arm is the International Mission Board, which funds 3552 missionaries in every area of the world except North America, about 100 of which are based here in Japan and 2 serve out of YIBC. Theological education is funding for the 6 Southern Baptist Seminaries in the US. We have three members of YIBC enrolled at Southern Baptist Theological Seminary right now, and I graduated from Southeastern Seminary. Finally, there are the North American Missions through the North American Mission Board. They train and fund church planters and missions efforts throughout North America, but starting with our church plant at Cross Church Yokosuka, they even began to fund churches outside of North America.

That is the Cooperative Program. Currently, YIBC gives ¥1,000,000 per year to the Cooperative Program. Notice also, there are two special offerings each year pictured by the direct funding flows to International Missions and to North American Missions. By now, most of you are likely familiar with the Lottie Moon Christmas Offering, which goes directly to the International Mission Board. This year, YIBC gave \$5356.82/¥720,000 to the Lottie Moon offering which represented 75% of our Christmas offering we collect each year. We don't collect the Annie Armstrong offering that goes to the North American Mission Board, but most US churches do.

In addition to those Great Commission Baptist ways of collecting money, we also do individual missions efforts and give to other organizations and churches. A few weeks ago, you saw the sign we provided for Cross Community Church Yokohama, and at Christmas we gave the Japan portion of our offering to Seahorse Soccer Ministry. Next week, I have



invited Johan and Haruko Strydom to present their church planting ministry in Osaka, and I hope we as a church can find some way to be a part of their effort in the future. Which leads to the next aspect of giving that churches should be involved in which is **partnership with specific ministries and individuals**. Look at verse 5-11. **5 I will visit you after passing through Macedonia, for I intend to pass through Macedonia, 6 and perhaps I will stay with you or even spend the winter, so that you may help me on my journey, wherever I go. 7 For I do not want to see you now just in passing. I hope to spend some time with you, if the Lord permits. 8 But I will stay in Ephesus until Pentecost, 9 for a wide door for effective work has opened to me, and there are many adversaries. 10 When Timothy comes, see that you put him at ease among you, for he is doing the work of the Lord, as I am. 11 So let no one despise him. Help him on his way in peace, that he may return to me, for I am expecting him with the brothers.** Look at all the connections in these verses. Paul was going from church to church in several different cities and sending Timothy as a missionary to different churches. Paul expected the church in Corinth to provide for Timothy in a hospitable way that would refresh him in his ministry. Even by telling the Corinthians about the ministry opportunities in verse 9, he gives them an opportunity to partner with him in prayer. In this passage of Scripture, we have seen partnership in finances, and now in hospitality and likely housing for Timothy. At YIBC, we actively look for partnerships with not only HPBC, but with Pastor Chris Thomas at Cross Church Yokosuka and Pastor Patrick McGinty at CCCY. We have an ongoing partnership with Kona Baptist Church, and we have a mission team coming from Atlanta Georgia this Summer, similar to Timothy coming to the church in Corinth.

As we close this passage on giving today, though, I want to draw a line between our giving and our relationship to Christ. Notice Paul's focus in everything in the little phrase in verse 7, **"if the Lord permits."** Paul understood that in every part of life even finances and church support and ministry opportunities, God is Sovereign. He is in control. If we keep that focus, then Holy Spirit directed giving whether on our part personally or our church as a body is easy, because we know that God is in control of everything even our finances. Keeping the gospel centered vision that we have been talking about so much this year also let's us give to God however he leads, because every time we look at the cross, we see God's love for us that gave his only son so that we could become sons and daughters of God. **John 1:12 says about Jesus Christ, 12 But to all who did receive him, who believed in his name, he gave the right to become children of God...** That focus on Christ's sacrificial death and our place in God's family because of that sacrifice should guide our giving. He gave everything for us, so that we could have an inheritance from our Father God himself, who owns everything. So, whatever he asks us to give, should be an easy gift in view of God's ability and his grace. Let's pray.

# The Cooperative Program: Like a Mighty River

